

こくりこ日記

高田昭子のb2evolution blogです

アーカイブ: 2010年9月

2010/09/28

🕒 00:21:32, カテゴリ: [Walking](#), views: 743

ウォーキングシューズ



ウォーキングを始めた時には、今まで履いていたスニーカーで歩いていましたが、新しいウォーキング専用の靴に買い換えました。

とっても調子がいいですし、早く歩けます。クッションもいいし、足裏が痛くなくなりました。

でも、マラソン娘が今読んでいる、アメリカの本によれば、人間は生まれた時から「走る体」になっているそうです。だから裸足で走ってもさしつかえないそうです。それが証拠に、いくら新しいシューズが開発されても、ランニングやウォーキングで怪我をする人が減らないのだそうです。シューズメーカーのおいしいお話に誘惑されないように・・・と言っても買ってしまいました。

つまり、原始の人間のように生きていけばいいのでしょうか、もう遅いですね。

新しい歯磨き剤が、どんどん新製品を出しても虫歯になる人がへらないのと同じことかもしれません。

[4 コメント](#)・[編集](#)



こくりこ日記

高田昭子のb2evolution blog
[吸殻山383番地の家に戻る。](#)
[中央1番地に戻る。](#)

- [最新](#) (キャッシュ)
- [最新](#) (キャッシュされない)

2010年9月				
日	月	火	水	木
			1	2
5	6	7	8	9
12	13	14	15	16
19	20	21	22	23
26	27	28	29	30
<<	<			

- [最近のコメント](#)

Heavy Hitters

- [Test](#) (20 visits)
- [詩の歳時記-117](#) (19 visits)
- [詩の歳時記-82](#) (19 visits)
- [詩の歳時記-56](#) (19 visits)
- [花守](#) (19 visits)
- [Walking1日目。](#) (18 visits)
- [引用文-23・あきらめ](#)
- [詩の歳時記-274](#) 「あ」 (18 visits)
- [詩の歳時記-253](#) 「柳」 (18 visits)
- [詩の歳時記-123](#) 「桜」 (18 visits)
- [ペルギーノ展](#) (18 visits)
- [詩の歳時記-353](#) 「冬」 (18 visits)

検索

- 全ての語
- いずれかの語

2010/09/25

🕒 00:00:54, カテゴリ: [日記](#), views: 638 

あっちこっち.....



酷暑はようやく過ぎたものの、この半年間はからだも、家のなかも故障続きだったような。。。

温かくなったら始めようと思っていた歯医者通いは3月から、暑い7月末まで続いてしまった。(←これは診療費稼ぎではないか?と疑っているけれど、素人には治療手順の判断ができないので、従うしかない。) 23回の通院。

これで無事終了かと思いきや、昨日から歯茎が痛い(虫歯ではない)。またまた今日(涼しい!寒い!)から歯医者通いが始まる。まさか5か月はかかるまいが。

この夏の酷暑のなかで、からだもPCもダウン。Waikngはドクターから、歩く距離を減らすようにと言われるし。

古いPCには、1台のプリンターと、もう1台のプリンター&スキャナー&コピー機はついていたのですが、「XP」から「7」に変わったら、古いプリンターも新調、後者の多機能のものはスキャナーが使えないことが判明。

中国ではPC原料の「なんとか」という鉱物を日本向け輸出をしづる時代に、こういう無駄はなんとかしてほしい。

そのうえ、使用期間3年過ぎたトイレの温水便座の温水が出なくなって(水は出る。)、今3度目の修理を待っている。こんなことは初めてのこと。急に涼しくなったので急いで直してくださいよー。

まあ。そんなわけで、我が体と我が家はあちこち故障だらけ。こういうことに慣れていくのが生活か???

 フレーズ

カテゴリ

- [All](#)
- [百人百詩](#) (100)
- [詩の歳時記](#) (365)
- [詩日記](#) (20)
- [My Haiku](#) (49)
- [Walking](#) (13)
- [引用文](#) (31)
- [日記](#) (163)

アーカイブ

- [2015年11月](#) (1)
- [2015年7月](#) (1)
- [2015年5月](#) (2)
- [2015年3月](#) (3)
- [2015年2月](#) (2)
- [2015年1月](#) (3)
- [2014年12月](#) (2)
- [2014年11月](#) (2)
- [2014年10月](#) (3)
- [2014年9月](#) (2)
- [2014年8月](#) (2)
- [2014年7月](#) (2)
- [続き...](#)

いろいろ

- [管理](#)
- [プロフィール \(admin\)](#)
- [ログアウト \(admin\)](#)

このブログの配信

- RSS 0.92: [投稿](#), [コメント](#)
- RSS 1.0: [投稿](#), [コメント](#)
- RSS 2.0: [投稿](#), [コメント](#)

[2 コメント](#)・[編集](#)■ Atom: [投稿](#), [コメント](#)[What is RSS?](#)

2010/09/23

🕒 15:14:11, カテゴリ: [日記](#), views: 671

検察官は推理作家か？



朝日新聞「天声人語」.2010年9月23日（木）付より。

名探偵「ブラウン神父」のシリーズは味わいが深い。宗教者らしく、神父は謎解きの合間に含蓄のある言葉を吐く。「人間というものは、善良さの水準を保つことはできるが、悪の水準を一定に保つことはできない。悪の道はただ下る一方だ」。そう言って大泥棒をさとす▼大泥棒も人間なら、検察官も人間だった。あらかじめ描いた事件の構図に沿って自白を迫る。ときには調書も作文する。かねて指摘されてきた特捜検察の「悪」、でなければ「暗部」の水準が落ちるべくして落ちた。それが今回の押収資料改ざん事件だろう▼前代未聞の不祥事を生んだのは、厚労省の元局長、村木厚子さんが被告になった郵便不正事件である。明快な無罪判決のあと、〈特捜が特高になる恐ろしさ〉と川柳欄に載った。だが、さすがの作者も、ここまでの怖さは想定外だったろう▼たとえば、否認している容疑者の毛髪を1本拾って犯行現場に置いてくる。やや極端なたとえだが、今回の件はそんな荒っぽさにも通じる。権力は私たちに、どんな濡（ぬ）れ衣（ぎぬ）も着せることができる▼改ざんで逮捕された主任検事は特捜の敏腕だった。所属する大阪地検の幹部らは不正の疑いを把握していたようだ。禍々（まがまが）しい花は、組織に深く根を張って咲いたと見るのが自然だろう▼ブラウン神父に戻れば、その説教に感じた大泥棒は、盗んだダイヤを神父の足元に返して改心を誓う。検察も「秋霜烈日」のバッジを返上したつもりで背水の出直しを図るしかない。大泥棒は立派に更生するのだが、検察はどうなる。

*

*

*

女性と大衆を馬鹿にするんじゃないわよ!!!

彼等は自分たちで組み立てたストーリー通りに、証拠を集め、証拠を改ざんして、無実の女性の1年3か月を無駄にした。その間の彼女の苦しみはどんなものだったか。人間ならばわかるだろう？

足利事件だって同じこと。長い間この腐敗は増殖するばかり。

• [編集](#)



Original template design by [François PLANOUE](#).

